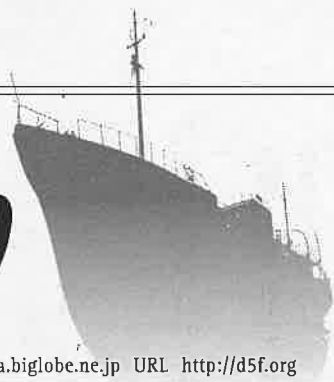


2004.07.01  
No.310

# 福竜丸だより

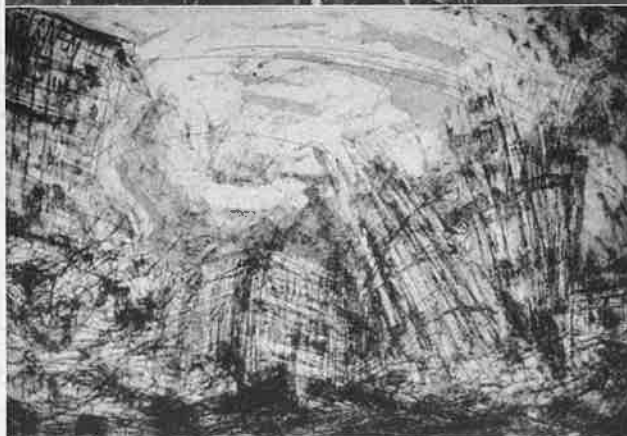


発行：財団法人 第五福竜丸平和協会 連絡所：東京都江東区夢の島3-2 〒136-0081 第五福竜丸展示館内

Tel.03-3521-8494 Fax.03-3521-2900 E-mail:fukuryumaru@msa.biglobe.ne.jp URL http://d5f.org

アーティストの展示作品より

右上・シエルビー・グラハム、  
左上・ジェームズ・ワイ、  
下・ロビン・スミス、  
下・ヤノベケンジ、



ビキニ水爆実験被災50周年記念特別展

現代アート展7月16日～8月15日

## コラプシング・ヒストリーズ 時・空間・記憶

こなわれます。

歴史を重ねた場所

五〇周年記念事業の特別展の第四次企画は、現代アート展です。「コラプシング・ヒストリーズ(崩れゆく歴史)時・空間・記憶」と題したアート展は、アメリカのインディペンデント・キュレーターのアロン・カーナー氏によって企画、プロデュースされました。

企画者のカーナー氏が心を留めたのは作品が展示される場所です。その一つは、人類を脅かす核、ビキニ環礁での水爆実験による「死の灰」をあげて五〇年、歴史の航海をつづける第五福竜丸展示館です。

(2めんにつづく)

この展覧会は、直接に戦争や殺戮に参加した体験を持たない世代のアーティストたちが、歴史や時代に想いを馳せ、体験を受け継ぎながら、歴史は常に新しく生みだされるとともに崩壊し忘れられゆくものであることに心を留めて、想像力を喚起し創りだした作品の展示会です。

今回出展するアーティストはアメリカ、イギリス、日本など一四人。展示会場は、第五福竜丸展示館と浅草のギャラリー・エフの二カ所を結び、一つのアート展としてお

### 現代アート展コラプシング・ヒストリーズオープニング 記念アーティスト・トーク

- \*日時 7月17日(土)午後3時より
- \*場所 第五福竜丸展示館
- \*来日作家、日本の作家が話します。

ギャラリー・エフ

もう一つの展示会場は、浅草・雷門のギャラリー・エフです。ここは江戸時代末期に建てられた石蔵で、関東大震災と東京大空襲の劫火をくぐりぬけ、いまは美術品を展示する場所であり文化庁の登録有形文化財となっています。展示場所そのものが作家のイメージと一体的にメッセージを発信するという展覧会です。

六人の作家が来日

今回のアート展にあわせて、企画者のアロン・カーナー氏（ビデオインスタレーションも出展）をはじめアメリカからアーティスト六人が来日します。七月一七日のオープニング記念のアーティスト・トークには、日本から参加する中ハシクシゲ、ヤノベケンジ両氏も駆けつける予定です。

出展される作品と作家

△第五福竜丸展示館展示作品▽

- ロビン・カンドル（アメリカ）作品ビデオインスタレーション『デイグ』
- 父のナチスからの逃走体験を映像作品化。
- ジェームズ・ファイ（アメリカ）作品フォト・コラージュ『ペリリユー島の日米激戦での父の記憶を作品化』
- レベツカ・ラモス（アメリカ）作品絵画『ハナマケ／ワケアオ』
- 核実験のトリニティやビキニ核爆発など八点の作品。
- エリス・コーレンカマラ（アメリカ）作品テキストアルバム『コロラージュ』
- 即刻都市より退避せよ』
- 透明バイナルと着物のコラージュ。
- 中ハシクシゲ（日本）作品フォトレリーフ『三月一日ルニットドーム』
- 核実験クレーターを覆った巨大なコンクリートドームのレリーフ作品。
- ヤノベケンジ（日本）作品立体『森の映画館』
- 小さな核シェルター「森の映画館」で核防衛教育映像などのビデオインスタレーションを上映。

アーロン・カーナー（アメリカ）作品ビデオインスタレーション『死の灰』

- ゴジラを素材に核にどう生き残るかを問う映像作品。

△ギャラリーエフ展示作品▽

サリー・クラーク（アメリカ）、写真作品『ドイツ・ダッハウ』『チエコ』など

- ナチスの強制収容所を描く。

イアン・エバラード（イギリス）作品・絵画、立体『寓話』『防護服』『ガスマスク』

ビン・ダン（ベトナム／アメリカ）作品ミックスメディア『さまよえる小さな魂』

『会話』『兵士の叫び』・ベトナム戦争の記憶を伝える。

ハナ・ハナ（アメリカ）作品ミックスメディア／立体『無題』・メディアにまん延するイメージを使った作品を構成。

キース・マスコット（イギリス）作品インスタレーション『真実の芸術品』

- 日本軍に降伏した父の遺品。

シエルビー・グラハム（アメリカ）作品コラージュ『原

爆下で生きる』

ロビン・スミス（アメリカ）作品・絵画『震動』

- チェチェン紛争での廃墟と世界貿易センタービルのイメージの組合せ。

ロビン・カンドル 作品ビデオインスタレーション『ポストラ』

ジェームズ・ファイ 作品写真『日本人の捕虜たち』『戦いを終えた四人の兵士』他。

アーロン・カーナー氏からのメッセージ

第五福竜丸展示館でアート展を開催できて光栄です。現在の世界にとって大惨事の経験とは、身近に迫るものであり、この五〇年記念のとりくみは、人々の心に大切なことを訴えかけるとも重要なイベントです。



アーロン・カーナー氏

島田興生写真展・図録

ビキニ水爆被災50年を記念して展示館でおこなわれた写真展に展示されたすべての写真を収録  
 フォトジャーナリスト島田さんの30年のマーシャル体験が凝縮 A4版 16ページカラー 頒布価1000円（送料込み）  
 \*お申し込みは平和協会まで  
 TEL.03-3521-8494 FAX.03-3521-2900

私たちは、日々の殺戮や戦争、爆撃の映像に慣れてしまっている、麻痺する危険に直面してはいないでしょうか。今の世界と第五福竜丸を結んで考えると、日々の多忙な中で一瞬でも心で深く考えることが必要ではないかと思えてきます。

私は、「コラプシング・ヒストリーズ」をつうじて、たくさんの方がたに自分たちは何なのか、これから私たちは歴史をどのように築くのかを考えるその架け橋となることを願っています。

\*ギャラリー・エフ（雷門2の19）地下鉄浅草、蔵前より徒歩。電話03（3841）0442

# 来館した 生徒たちの 声より

修学旅行や団体見学がピークを迎えた5月6月、島田興生さんのマーシャルの写真展を見て皆さんの感想が寄せられました。

日本人だけじゃないんだ

教科書には第五福竜丸のこ  
としか書いていなかったけれど、マーシャル島の人たちも被爆していると知ってびっくりしました。(岡山 中学生)

ひとつの爆弾で、日本人は  
もちろんその「範囲」にいた  
たくさんの人々の人生が狂わ



されてしまったことはとても  
悲しいです。(無記名)  
笑顔について

この人たちはひばくしたの  
に、スゴイ豊かな顔をして写  
真に写っている。でもそのう  
らがわにはとても悲しい現実  
があることがわかった。(中  
学3年)

写真では笑顔でいる人が多  
いけど、本当はすごく悲しく  
て苦しかったと思います。早  
く久保山さんの願いがかなう  
と良いです。(三重 中学生)

胸が苦しくなった。それで  
もつらい思いをしている人は  
私の何倍も苦しいと思う。何  
年たっても絶対忘れられない  
ことだと思った。(中学3年)

心が痛くなった。人間どう  
しなのに本当に「こんな事し  
ていいのか」と感じました。  
人ごとじゃない、と思えます。  
日本だけでなく外国でも世界  
中でお金なんかで解決できない

問題だと私は思います。  
(三重 中学生)

写真展を見て、こんなたく  
さんの人々を苦しめているの  
になぜやめようと思わないの  
か。こんな人々を苦しめるも  
のを作るのくらいなら、葉や  
病院など人の役に立つものを  
作らなければいけないと思  
う。(中学1年)

核兵器ハンターイ

世の中が便利になればなる  
ほど、困っている人々がいる  
ことをつい忘れてしまいま  
す。本当の意味での平和、一  
部の人だけではなく、世界中  
の人がみな、平和で幸せにな  
るためには核兵器はあっては  
ならないと思った。どの国に  
も戦争をしてほしくないで



す。早く全世界が仲良く平和  
になればいいなあと思った。  
(京都 中学生)

水爆は自然を汚し、人を殺  
し、その家族を悲しませる。  
そんなものを作ってまで何を  
望むのか。そこまでして戦争  
に勝ちたいのか。私は水爆を  
作ったのが同じ人間だとい  
ことを情けなく思い、そんな  
ものが早くなくなることを深  
く願っています。(和歌山  
中学生)

わたしもがんばります

写真を見ている気持ちがあ  
らくなります。つらいことは  
忘れたけれど、このことは忘  
れずに覚えておかなければと  
強く思います。自分は世界中  
に大きな変化をもたらすこと  
はできないけど、心に思うこ  
とで自分の中で何かが変わっ  
ていくと思います。(中学3  
年)

放射能の恐ろしさをあらた  
めて実感し、恐ろしいと思っ  
た。しかし恐ろしいと思っ  
ただけではなく、実際にな

に行動してみようと思った。  
そこに住んでいる人のあり  
のままの姿に悲しくなっ  
まったのはなぜだろうとも思  
った。(東京 高校2年)

原爆のおそろしさ悲惨さを  
見せられ、あれほど多くの  
方々が犠牲になっっているの  
に、なぜ戦いをやめないのか。  
これまでの尊い命の犠牲はど  
うなってしまったのか。「今」  
を生きている私たち一人一人がし  
っかりと事実をみつめうけと  
め伝え守っていかなければな  
らないことを痛切に感じま  
す。(無記名)

私たちのまわりからは水爆  
実験の記憶が忘れ去られよう  
としています。私たちは悲し  
い記憶や平和でありたいとい  
う願いを胸に持ち続けていた  
いと思います。私たちも平和  
のためにすべきことを実行で  
ていきます。(長野 中学3年)

ほくらが大人になったら戦  
争のない世界にしたいです。  
(長野 小学6年)

**本の紹介**  
**岩波ブックレット**  
**「第五福竜丸～ビキニ**  
**事件を現代に問う」**  
**川崎昭一郎著**

第五福竜丸平和協会の川崎昭一郎会長が、このほど『第五福竜丸～ビキニ事件を現代に問う』を執筆し、7月6日に岩波書店より発行されます。

今年はビキニ水爆被災50年を記念した書籍が、2月から3月にかけて出版されましたが、本書は新たに指摘された諸事実もふまえ、事件の概要と核心に迫る内容となっています。

著者は、第五福竜丸事件当時、物理学を専攻する学生として、研究者としての側面からと原水爆の禁止を求める市民の一人として関わりを持ち、当時の世相と時代背景を考えながら、事件がもたらした世界的、歴史的影響を提示しています。

そして、この事件により人類に提起された核兵器と核汚染という深刻な問題に対して、「情熱・創意・知力を傾けて、真剣に真正面から取り組んだ」人類史上「たぐいまれな時期であった」こと、「ビキニ水爆」が人類絶滅の可能性を初めて示唆したこと、核爆発実験の放射能被害に対して、日本の科学者が「自主・民主・公開の原則に基づいて、積極的に迅速に調査研究に取り組む」その「努力と成果は科学界にもインパクトを与えた」ことなどが描かれています。

また、国際政治への影響やマーシャ



本書はA5判73頁、図版・写真も入っています

ル諸島の被害や原水爆禁止の草の根の取り組みについても言及し、第五福竜丸展示館の今日的役割にもふれて「ビキニ事件」をトータルに知ることのできるコンパクトな一冊となっています。

**焼津市より**  
**市史資料編5『漁業』**  
**資料編1『考古』寄贈さる**

焼津市がすすめている市史編さん事業の資料編『漁業』と『考古』の2巻がこのほど刊行され、当館にも寄贈されました。

漁業編は第五福竜丸事件の地元として興味深い資料集であり、第V編昭和戦後再建期の第8章が「第五福竜丸事件と補償問題」にあてられ、次の6編の資料も収録されています。

・資料番号310「第五福竜丸の措置と買収経過」、311「第五福竜丸船体買上げの経過」、312「焼津における漁師の婦人達の生活(抄)」、313「水爆被害対策市民大会」、314「久保山愛吉氏漁民葬」、315「故久保山愛吉氏漁民葬弔辞」。

焼津は、江戸時代よりカツオ漁業が行われ、鰹節生産が盛んでした。明治期には遠洋漁業に乗り出し、戦時中は徴用船の被害も大きく、「水産の焼津」としての歴史は特徴的です。その意味で本書は「第五福竜丸と焼津の漁業」という点からも興味深い資料集です。A5版、1117頁、別冊283頁。頒価3500円。問い合わせは同市市史編さん室まで。

**マグロのウロコ**  
**金沢大学より寄贈**

金沢大学理学部より、ビキニ水爆実験で被災したマグロのウロコの試料が寄贈されました。これは当時分析化学教室の木羽敏泰教授らのグループがマグロに付着した放射性物質を測定するために用いたものです。採取したウロコを薄い酸で洗浄し、溶出した放射性

核種を科学分離して測定。そのためウロコは巻きついたように変形しています。これらのウロコには放射能は全く残っていません。

「死の灰」とともに8月初めより展示されます。

**夏の取り組み 各地で**

「被災50年」の今年の夏は各地でビキニ事件を伝える写真展やとりくみがおこなわれます。平和協会が製作した巡回展のパネル展示をはじめ、貸出写真パネルの活用などが各地で企画されています。

<これからの各地の主な取り組み>

- \*6月30日—8月1日 焼津市 被災50年特別展「第五福竜丸—平和の願い」焼津市歴史民俗資料館
- \*7月13日—18日 西宮市「原爆展」
- \*7月18日—29日 郡山市「ゴジラの時代展」郡山市立美術館
- \*7月29日—8月2日 さいたま市「2004年平和のための埼玉の戦争展」
- \*8月1日—15日 福山市「写真でたどる第五福竜丸」福山市東部図書館
- \*8月2日—9日 伊丹市中央公民館「平和を考える市民フォーラム—第五福竜丸被災50年展」
- \*8月6日—15日 高知市自由民権記念館「第五福竜丸展」
- \*8月10日—15日 岸和田市民平和展「第五福竜丸50年展」
- \*8月20日—22日 鹿児島市「平和のための戦争展」
- \*6月には川崎市「平和をきざく市民のつどい」、金沢市「金沢大学市民公開講座」等でも活用されました。

----- (ハ0ハ) ボランティアメール -----

マスコミで島田興生さんの写真展が紹介されたこともあり千客万来の日々。展示館の回りには長崎市の花アジサイが見事に咲きほころび、広島市の花夾竹桃も咲き始めました。ガイドに「愛吉・すずのバラ」の手入れに資料整理と、ますますはりきるボランティアの会です。